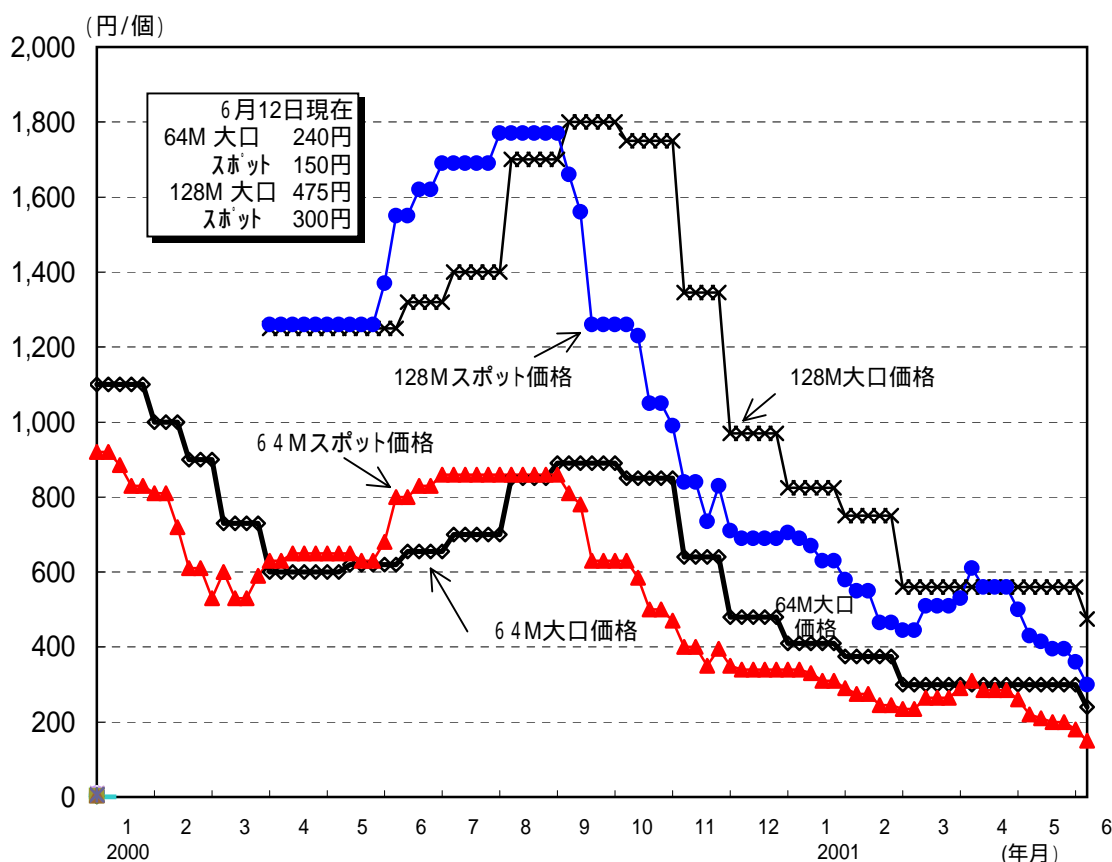




D R A M 価格動向

- ・DRAMのスポット価格は、2000年夏から秋口にかけて一旦上昇した後、ほぼ一貫して下落傾向。
- ・背景要因としては、パソコン、携帯電話向け等を中心に世界的に需要が拡大(需給逼迫) 設備投資を行いメーカー各社が増産(需給均衡) 米国景気の失速等により需要が縮小+メーカー各社の生産能力は増強されたままであること(供給過剰)、があげられる。
- ・国内大手メーカーの中には、収支不味を理由に、64MDRAMの生産縮小や撤退、256MDRAMへの生産シフトなど、生産体制の見直しの動きが現れている。



各月上旬	00/6	00/9	00/12	01/3	01/6
64M大口	620	890	480	300	300
128M大口	1,250	1,700	970	560	560
64Mスポット	680	860	350	235	180
128Mスポット	1,370	1,770	710	445	360

(備考) 1. 日本経済新聞により作成。
2. 最低値及び最高値の単純平均値。

[調査部(産業調査担当) 菅 四郎]